

収穫終盤 農作物生育状況

十勝では収穫作業が終盤を迎えています。ビートの収穫は終盤に差し掛かり、長いもなどの根物野菜の掘り取り作業はピークとなりました。

ゆとりみらい21推進協議会がまとめた10月15日現在の農作物生育状況によると、てん菜（移植）の根周は43・1cmと平年よりやや大きく推移しています。

収穫作業が終わった飼料用とうもろこしは2日程度早く収穫が終了し、てん菜・大豆・小豆においては平年と変わらない日程で収穫が始まりました。

長いもの作柄につきましては、いも径は平年を上回ったものの調整長、いも重、乾物率については平年を下回っております。

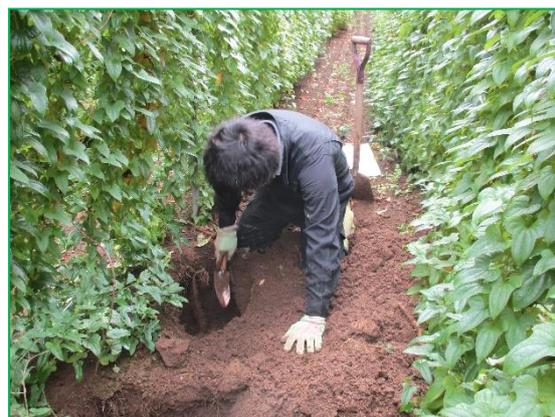
秋まき小麦については、は種終は平年より2日程度早く、出芽期は平年より2日程度遅くなっている状況です。

また、10月11日に当組合の長いも坪堀調査が実施され、重量、収量ともに前年を上回る見込となりました。

収穫期の終盤と共に疲労もピークとなり、交通事故・農作業事故が多くなっていく傾向があります。夕暮れが早まっており、視界が悪くなっているため、無理な作業を避け、ゆとりをもって収穫作業を行うよう心がけましょう。



てん菜収穫の様子



長いも坪堀の様子

北海道信連農業実習



北海道信連帯広支所の職員による農業実習が、9月6～7日の日程で途別地区の馬鈴薯圃場にて行われました。

北海道信連では、系統職員としての意識醸成を図ることや現場力・企画力の強化等を目的に新規採用の際に農業実習を実施しております。

実習では、馬鈴薯の収穫・選別作業を行い、馬鈴薯についての知識を深めるとともに、北海道の農業に直接触れることのできる充実した2日間を過ごしていました。

幕別町開町記念式



令和4年度幕別町開町記念式が、10月1日に幕別町市民会館にて行われました。

記念式では、功労者の表彰が行われ、高橋秀樹前組合長が永きにわたり地域農業の発展に多大な貢献をされるとともに、十勝管内においても指導的役割を果たし農業の振興に大きく寄与された功績から産業厚労賞を受賞しました。

甜菜立会人目合わせ研修会



令和4年度原料甜菜の受け入れに係る立会人目合わせ研修会が、10月8日に日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所にて開催されました。

日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所では本年度原料の受け入れ計画100万トンを見込み、10月10日より受け入れを開始し、貯蔵場は10月14日から12月30日まで受け入れを行う予定です。JAさつない管轄の甜菜収量は68t/haを見込んでおります。